

平成25年度 事業報告

1. 事業報告の概要

岩見沢市においては著しく人口が減少傾向にあり、また、高齢化率が30%を超え、月0.1%ずつ上昇するなど社会環境が変化する中、引きこもり等の社会的孤立、経済的困窮や低所得、高齢者や子供に対する虐待、悪質商法などの消費者被害、権利擁護の問題等地域における生活課題は益々増大しております。

このような社会情勢の中で、「支え合い 共に生きる 住みよい地域づくり」を基本理念に、当会の重点推進事業であります地域ふれあいサロンの普及に努めた結果、平成25年度においては、5か所の地域ふれあいサロンが新たに開設され、市内で24か所のサロンが展開されるようになり、地域での支え合い活動が着実に広がりを見せた1年でした。

これからも、地域やボランティア・福祉団体等と連携を密にして、在宅福祉サービス推進事業や地域ふれあいサロン等、地域福祉の推進・普及になお一層、努めて参ります。

また、豪雪地帯である岩見沢市の高齢者や障がい者等要援護者が出来る限り在宅で暮らすことが出来るよう、個人・団体・学校等による除雪ボランティアの事前登録及び町会・自治会を中心とした、地域での除排雪支援を岩見沢市と連携を取りながら実践して参りました。

平成25年度においては、発展強化計画の3年目にあたり、予定された事業についても概ね計画通り推進することができました。

以下、平成25年度事業計画に沿った推進項目について報告をいたします。

2. 社会福祉協議会の運営基盤の充実

(1)財政基盤の充実のための自主財源の確保

慶弔寄附等をはじめとする市民の社会福祉に対する理解による基金造成に協力いただいた。 □香典返し寄附金 49件 1,683,969円 □一般寄附金 49件 1,585,395円

(2)会員会費制の趣旨啓発及び加入促進

①一般会員の加入促進

町会・自治会の協力により、1世帯年額100円を250町会の27,877世帯に加入をいただいた。

②特別会員の加入促進

福祉施設、団体・法人、事務所等の賛同により、1口年額5,000円を38団体60口の加入をいただいた。

③賛助会員の加入促進

個人として、会の趣旨に賛同され、1口年額1,000円を307人437口の加入をいただいた。

④企業会員の加入促進

株式会社・有限会社等でこの会に賛同され、1口年額10,000円を35社40口の加入をいただいた。

(3)共同募金事業に対する協力

社会福祉協議会の地域活動事業資金として助成を受けております赤い羽根共同募金の事務局を担い、町会・自治会・ボランティアの皆さんのご協力を得、総額9,103,014円の寄附がありました。

また、歳末たすけあい運動については、8,343,898円の義援金がありました。

(4)役職員一体となった運営体制の強化と情報の共有化

理事会・評議員会に積極的に情報を提供し、運営強化について協議を行うとともに情報の共有化に努めた。

3. 各種調査と研究の実施並びに各種研修会等への参加

- (1)北海道社協空知地区事務所及び空知地区社協連協との連携
北海道社協空知地区事務所と連携を図るとともに、空知地区社協連絡協議会による会長・事務局長会議、役職員研修等で情報交換を行い、連携を図った。
管内の市町社協活動について「安心・安全・福祉のまちづくり活動」空知地区推進会議、地域に理解され支持される社協づくり研修会等あらゆる機会を通じて、地域に根ざした住民福祉活動のあり方について情報交換した。
空知管内社協職員連絡協議会で近隣市町社協との情報交換に努め事務遂行の参考とした。
- (2)北海道社会福祉協議会が主催する研修会への役職員の積極参加
全道市町村社協会長・事務局長研究協議会、法人役員(社協)専門研修 B、北海道社会福祉大会等に参加・受講し、役職員それぞれが情報収集に努め研鑽の機会確保に努めた。
- (3)当会の部会及び委員会での調査、研究の充実
総務部会、介護保険事業運営委員会を開催し、事業把握及び安定経営を目指した運営協議を行った。
- (4)職員の専門性の確保と資質向上のために各種研修会等への積極的参加促進
空知管内社協職員研修会、全道社協職員研究協議会、空知地区ボランティア活動推進会議、共同募金会事務担当者研究協議会、岩見沢地域生活福祉・就労支援協議会、生活福祉資金貸付研修会、権利擁護研修会、権利擁護システム構築セミナー、地域支援における成年後見制度研修、北海道市民後見人養成等推進事業報告会、日常生活自立支援事業推進研修、介護支援専門員実務従事者基礎研修及び更新研修、社会福祉法人財務会計セミナー研修、高齢者虐待防止ネットワーク実務担当者会議、市町村ボランティアセンター運営協議会、全道福祉の学習推進セミナー等を受講し、資質向上に努めた。

4. 広報活動の充実

- (1)広報紙「社協だより」の発行
社協の事業活動・福祉情報等を市民に伝えるため、町会・自治会の協力を得て「社協だより」を全世帯に配布し、福祉意識の啓発に努めた。
□発行回数 年3回(7月・12月・3月) □発行部数 1回につき37,000部
- (2)ホームページによる情報発信
社協の広報啓発活動の一環として、インターネット上にホームページを開設し、社協の事業紹介・活動情報をより早く、正確に多くの人々に発信し、社協への理解と情報提供に努めた。
- (3)社協事業活動の理解と地域の福祉実践活動紹介等の広報活動の推進
ボランティアセンター広報紙「おもしろい」をはじめ、北海道社会福祉協議会発行の各種関係紙等をボランティア団体をはじめとする関係団体や各事業・講習会等において配布し、情報の提供・啓発活動に努めた。
- (4)社会福祉に関する情報提供の役割を担う広報活動の推進
北海道社会福祉協議会編集発行の情報誌「明るい社会」を全民生委員に配布するとともに、理事・監事、関係機関に配布し情報提供に努めた。また、福祉機関発行のパンフレットを配布し情報提供に努めた。
- (5)報道機関への情報提供により広く活動内容を周知
各事業・行事等について、開催時ごとに報道機関に取材依頼し、市民周知に努めた。

5. 社会福祉功労者表彰及び各表彰の受賞

- (1)社会福祉功労者表彰の実施
当会顕彰規程に基づき、永年にわたり地域及びボランティア活動等にご尽力され、地域福祉の向上に寄与された個人及び団体を讃え、表彰を行った。(10月29日開催)

○社会福祉関係功労者表彰者

善 行 感 謝			永年勤続表彰	ボランティア 功労賞
岡田 實 浅田 正昭 浜中 道子 岩見沢東 ロータリー クラブ	工藤 敏雄 伊藤 鉄男 梶田 法作 安保 勝 姫野 恵 今井 知文 野田 豊樹 大願つつじの会	黒川 脩子 三辻美恵子 作井 静代 松本 徹也 山田 圭子 林 倫子 山名千鶴子 風間 満恵 川岸 君江	玉置 広範 工藤 茂樹 新松 優子 秋本能里子 伊藤 寿之 高橋 美香 菊地 香里 堀 隆志	岩見沢さつきの会

□善行感謝(19人・2団体) □社会福祉施設永年勤続表彰(8人)
□ボランティア功労賞(1団体)

(2)厚生労働大臣表彰

ボランティア功労

岩見沢手話の会 (ボランティア団体)

□11月23日(12月15日 岩見沢市長より伝達)

(3)全国社会福祉協議会会長表彰

梅田 絹子 (民生委員児童委員功労)

□11月15日(全国社会福祉大会席上 欠席のため1月7日辰田会長より伝達)

(4)北海道社会貢献賞(北海道知事表彰・民生委員児童委員功労)

穴田 和枝・佐藤 章子・斎藤 和熙・中村 諒子・内海 泰子・宮内 紀恵子

□9月5日(北海道社会福祉大会席上)

(5)北海道社会福祉協議会会長表彰(民生委員児童委員功労)

松田 静枝・池島 深雪

□9月5日(北海道社会福祉大会席上)

(6)北海道共同募金会会長表彰(永年勤続功労者)

吉田 盛一

岩見沢市立北村小学校(共同募金運動優秀学校)

□9月5日(北海道社会福祉大会席上)

6. 東日本大震災の被災地支援及びフィリピン台風被災地への支援

(1)平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」の義援金募集を町会連合会と連携し町会・自治会より協力を得ながら引き続き義援金の募集を行った。

□平成26年3月31日現在募金総額 17,077,621円

(2)赤い羽根3.11いわて沿岸地域(宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、田野畑村、野田村)の4市2町2村の復興の手助けをする福祉事業に対し、寄附による支援を行った。 10口 30,000円

(3)平成25年11月8日に発生したフィリピン台風の被災地の中長期的な復旧・復興救援活動に対し、寄附を通じて支援を行った。 10口 10,000円

7. 地域福祉を総合的に高めるための事業推進

(1)小地域福祉ネットワーク事業の支援推進

「支え合い 共に生きる 住みよい地域づくり」を目指し、小地域(ふれあい推進協議会・地区協議会・町会等)単位を基盤とした、地域住民の参加と協力による「助け合い」、「支え合い」活動により、地域の「つながり」の構築と地域課題や生活課題を発見し、地域における要援護者等の方に対して、在宅福祉サービス推進事業の取り組みが行

われ、「安否確認事業」・「日常生活支援」をはじめ、「福祉施設等視察」・「福祉懇談会」、「ふれあい昼食会」・「三世代交流会」等の多様な活動が展開され、地域のネットワークづくりが推進された。

さらに、各町会の特性と地域性を生かした事業活動として、岩見沢市が推進する「わがまちづくり事業」とともに、各地域において活動がなされた。

(2)地域除排雪支援事業の推進

岩見沢市より委託を受けて、冬期間における自力での除排雪が困難である要援護者(町会長や自治会長が認めた世帯)に対して、日常生活の安全確保のため、地域の除雪ボランティアの方々による日々の除排雪援助活動がなされた。□140 町会・1,287 世帯

(3)除雪ボランティアの登録・支援

昨冬に引き続き、除雪ボランティア活動希望者(事業所や団体、学校、個人等)を事前に募集・確保し、市と連携を図り、自力で除雪が困難かつ家族や親類及び町会・自治会からの協力が得られない要援護者世帯(高齢者・障がい者)に対してボランティアを派遣し、間口の拡張、軒下、住宅周辺等の除雪支援を実施した。

□登録団体 2 団体(砂浜ファームサービス 21・空知信用金庫)

□個人登録 9 人

□支援世帯数 8 軒 活動件数(延)8 件 ボランティア数(延)24 人
活動社協職員数(延)26 人

(4)地域福祉活動費の助成

町会・自治会等での地域間交流を深め、安全で安心した地域づくりの取組み、コミュニティ活動の促進を図るために、町会等の事業に対して助成を行った。

□北新町会 「お一人さま安否確認声かけ運動」

□南が丘町内会 「夏祭り交流事業」

(5)地域ふれあいサロンの設置支援及び助成並びに地域ふれあいサロン研修会の開催

①外出機会が少なく閉じこもりがちな独居高齢者や障がい者、子育て中の親子等を対象に地域でのつながりを深め、明るく生きがいのある人生を送れるよう、地域ふれあいサロンの設置について支援するとともに、サロン活動団体に対して助成を行い、地域における交流の場の普及に努めた。

・助成団体一覧表(全 24 団体)

□新規助成団体 5 団体

サロン名	開設年	サロン名	開設年
サロン駒ねっと	25(新)	稲穂ふれあいサロン	24
脳いきいき GOGO サロン	25(新)	ふれあいサロン 20	23
サロン 23	25(新)	いきいきサロン・やまと	23
サロンほろむい♪うたエール	25(新)	すこやかサロン	23
ニコニコサロン 13	25(新)	サロン moto 若妻会	23
サロン・マスカット	24	北斗親和会	23
南が丘町内会「はつらつサロン」	24	きらきらサロン	22
第 15 町内会ふれあいサロン	24	新東地区町会いきいきサロン	22
ふれあいサロン元気かい	24	オープンサロン かつこう	22
美園第 2 町内会サロン 「いきいき広場」	24	子育て応援ひろば「さんかくぼうし」	22
第六町内会「絆」サロン	24	ひまわりサロン	22
栄町楽・楽クラブ	24	脳はつらつサロン「いちご会」	21

②地域ふれあいサロン実践者を対象に、サロン活動に関する基調講演やグループ交流などを通じて、サロン活動に対する理解をより一層深め、また、相互に情報交換・共有することで、地域のサロン活動の活性化とサロン実践者同士のネットワークを構築することを目的として「地域ふれあいサロン研修交流会」を開催した。

□1 月 30 日 参加者 46 人

(6)ふれあい相談員による福祉相談の支援推進

民生委員児童委員に「ふれあい相談員」を依頼し、日常生活における身近な「相談窓口」として、各種の相談に対応していただき、安心と安全の地域づくりの推進に努めた。

(7)移動心配ごと相談所の実施

心配ごと相談所運営規程に基づき、民生委員児童委員の各方面から 14 人、学識経験者 2 人、計 16 人を心配ごと相談員に委嘱し、地域の方々が気軽に相談に来ていただけるよう、市内各所にて移動心配ごと相談所を開設し、市民の日常生活における心配ごとの相談を受け、心配ごとの解決や軽減に努めるとともに、岩見沢公共職業安定所と共同開設による職業に関する相談を実施した。

□岩見沢広域総合福祉センター	1 回	□高齢者福祉センター「ふれあい」	3 回
□高齢者福祉センター「えみる」	2 回	□栗沢市民センター	2 回
□美流渡コミュニティセンター	1 回	□日の出コミュニティセンター	1 回
□北ふれあいセンター	1 回	□幌向総合コミュニティセンター	1 回
		□計 12 回実施	相談件数 5 件

(8)介護者誕生日祝金贈呈事業

在宅で体の不自由な高齢者や障がい者の介護を支える家族のご苦勞に対して、祝金の贈呈を行った。

□8 人 80,000 円

(9)日常生活用具助成事業

日常生活を営む上で、便宜が向上すると認められた方に交付及び助成を行った。

□杖助成 35 人

□アイズピック助成 24 人

(10)町会組織と連携した地域福祉活動の推進

町会連合会・民生委員児童委員協議会等の協力を得て、町会・自治会を中心に、地域福祉に関する啓発活動、調査活動等を推進するとともに、社会福祉協議会が事務局を担当する「赤い羽根共同募金運動」「歳末たすけあい運動」「東日本大震災義援金運動」等にも大きな成果を上げることができた。

(11)第 2 回 復興支援 東北の物産販売高校生プロジェクトへの支援

岩見沢市内の 4 高校（農業高校ボランティア部・緑陵高校ボランティア部・東高校ボランティア部・高等養護学校生徒会執行部）の高校生が中心となって、東北復興支援のため、関係機関の協力のもと、東北の物産を購入・販売し、益金をユネスコ協会子ども就学支援奨学金制度に寄付する「第 2 回復興支援 東北の物産販売高校生プロジェクト」に対して、金品管理や関係団体との連絡調整、販売等全体運営に協力した。

□寄付金額 462,900 円

8. ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進

岩見沢市におけるボランティア活動の推進拠点として、ボランティア活動関係機関・団体との連携、情報交換、連絡調整、養成研修、相談などの機能充実を図るとともに、随時、機会を捉えてボランティア活動の地域への普及と市民に信頼される社協ボランティアセンターの運営に努めた。

(1)ボランティアセンター定例会の開催

ボランティアコーディネーター・アドバイザーが、よりよい活動のアドバイスを目指し、ボランティアに関する相談調整ケース等の検討と情報交換を相互に行うため、毎月 1 回の定例会と必要に応じて随時臨時会を開催した。

(2)ボランティア活動の実際を学ぶボランティア活動者研修会

ボランティアセンターに登録いただいている団体・個人の方々が一堂に会して、研修・交流を図り、横断的なネットワークを構築することを目的として「ボランティア活動者交流会」及び「ボランティア活動者研修会」を開催した。

□6 月 25 日 ボランティア活動者交流会 参加者 89 人

□2 月 21 日 ボランティア活動者研修会 参加者 81 人

(3)手話講習会（入門課程）と手話奉仕員養成講座（基礎課程）の開催

聴覚障がいに対する理解促進と聴覚障がい者の社会参加、日常生活を手助けする手話奉仕員を養成することを目的として、「手話講習会（入門課程）」（初心者対象）及び「手話奉仕員養成講座（基礎課程）」を開催した。

《入門課程》	昼の部	受講者	14人	修了証書交付	14人（12回以上出席者）	
	（全15回）	夜の部	受講者	22人	修了証書交付	12人（〃）
《基礎課程》	昼の部	受講者	13人	修了証書交付	7人（13回以上出席者）	
	（全17回）	夜の部	受講者	8人	修了証書交付	7人（〃）

(4)視覚障がい者支援ボランティア講習会の開催

視力障がい者の外出を手引きサポートするガイドボランティアについて学習し、一人でも多くの市民が視覚障がい者を正しく理解し、視覚に障がいのある人に気軽に声をかけ、支援できる環境づくりとボランティアの掘り起しを目的に「ガイドボランティア講座」を開催した。 □5月17日～5月31日（全3回） 受講者7人

(5)やさしい精神保健ボランティア養成講座（入門編）の開催

精神保健福祉、精神障がいについて正しく理解し、精神に障がいを抱える方々が、地域において孤立することなく、人と人との支え合いの中で豊かな地域生活を送ることが出来るように、その橋渡し役としての精神保健ボランティアを養成することを目的に開催した。 □6月20日～7月5日（全3回） 受講者12人

(6)傾聴ボランティア講座の開催

傾聴についての知識や技術、心構えを学び、地域や施設において活動する傾聴ボランティアを養成することを目的に開催した。 □9月24日～10月18日（全4回） 受講者17人

(7)レクリエーションボランティア講座

レクリエーションの基本的な考え方や技術・実践について学び、施設や地域で活動するレクリエーションボランティアを養成することを目的に開催した。 □10月18日～11月1日（全3回） 受講者9人

(8)認知症サポーター養成講座の開催

超高齢化社会を迎え、今後さらに認知症への正しい理解と地域での支え合いが求められる中、認知症についての正しい理解、認知症の方々や家族を応援する地域づくりを支援することを目的に、「認知症サポーター養成講座」を開催した。 □7月17日（1回目） 受講者27人 □12月20日（2回目） 受講者21人

(9)男性のための料理教室の開催

男女平等社会を迎え、人生80年を健康で楽しく豊かに暮らすため、また男性の家庭生活での自立を助長するため、男性が簡単に作れる料理教室を開催した。 □11月15日 参加者15人

(10)ボランティアの心構えを学ぶふれあいボランティア体験

「広がれボランティアの輪」連絡会議の「ボランティア体験月間」の提唱を受けて、ボランティア活動者をはじめ様々な分野で活動している地域活動者との交流・協働により、共に学び合うことを通して、学生のボランティア意識と人間性を育むことを目的に「学童・生徒のボランティア体験研修会」を開催した。

□8月8日 参加者59人（中学生22人、高校生15人、顧問4人、岩農生ボランティア2人・ボランティア・社協16人）

(11)ボランティアの心を学ぶ学童・生徒のボランティア活動の充実普及

①市内の小中学校22校と東・緑陵・農業の3高校を学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校に指定し、学校における福祉教育のボランティア活動実践事業推進のために活動費の一部を助成した。（1校あたり 年25,000円）

また、道社協が実施している学童・生徒のボランティア活動普及事業の協力校として、日の出小学校と栗沢小学校が再指定を受けた。

（再指定期間：日の出小学校 平成23年度～25年度 各年100,000円助成）

（再指定期間：栗沢小学校 平成25年度～27年度 各年100,000円助成）

②全指定校のボランティア担当者とボランティア・福祉団体関係者、教育関係者、福祉

関係者を対象に「指定地域福祉教育セミナー」を開催し、「指定校の福祉の学習、本校ボランティア活動事例発表」として北真小学校、緑中学校から話題提供をいただき、さらに「岩見沢市社会福祉協議会がすすめる福祉教育支援について」と題した事務局説明、また、福祉体験学習講師による手話体験・点訳体験を実施した。

□11月27日 参加者18人(教員10人、ボランティアセンター運営委員8人)

○福祉体験学習（総合学習）への協力

実施日	学校名	対象	内容
7月11日	第一小学校	4年生 66人	アイマスク体験と視覚障がい者の講話
9月4日	北真小学校	5年生 20人	車いす体験と車いす生活者の講話
9月10日	〃	5年生 20人	アイマスク体験と視覚障がい者の講話
9月17日	緑中学校	2年生 84人	車いす体験と車いす生活者の講話
10月10日	東光中学校	1年生 29人	ボランティア活動、高齢者福祉、視覚障がい者福祉に関する講話
10月22日	美流渡中学校	全校生徒 15人	ガイドヘルプ体験と点訳体験、視覚障がい者の講話
10月29日	上幌向中学校	3年生 23人	車いす体験と車いす生活者の講話
11月5日	緑中学校	1年生 92人	車いす体験と車いす生活者の講話
11月12日	日の出小学校	5年生 85人	点訳体験と視覚障がい者の講話
11月19日	第一小学校	5年生 66人	車いす体験と車いす生活者の講話
11月29日	栗沢小学校	2年生 43人 3年生 49人	視覚障がい者の講話、ギター演奏 聴覚障がい者の講話、手話体験
12月17日	岩見沢小学校	4年生 42人	車いす体験と車いす生活者の講話
2月12日	中央小学校	4年生 67人	アイマスク体験と視覚障がい者の講話

(12)地域福祉出前講座

地域の方々の福祉に対する関心や知識を深めることを目的に、町内会や地域ふれあいサロンをはじめとする地域福祉団体等の要望に沿って「地域福祉出前講座」を実施した。

□6月17日 幌向ボランティア「このゆびとまれ」

「ガイドヘルプ体験学習」

岩見沢視力障害者福祉協会 会長 佐々木 栄一氏

□7月2日 美園第二町内会サロン「いきいき広場」

「車いすの操作方法について」、「レクリエーション交流」

岩見沢市社会福祉協議会 通所介護係長 中川 雅樹

栗沢デイサービスセンター 生活相談員 川上 将宏

□10月17日 緑が丘グリーン団地町内会「サロン・マスカット」

「ベッド介助の方法について」、「車いす操作の方法について」

岩見沢市社会福祉協議会

栗沢デイサービスセンター 生活相談員 山崎 智史

□11月19日 美園第二町内会

「家庭で活かせる介護（ベッド介助）について」

岩見沢市社会福祉協議会 通所介護係長 中川 雅樹

栗沢デイサービスセンター 生活相談員 川上 将宏

(13)ボランティア活動保険等の加入促進

市内で活動するボランティア団体・個人が安心して活動するために、全社協「ボランティア活動保険」の加入促進と保険料の助成を行った。

また、岩見沢市社協登録除雪ボランティアや被災地支援ボランティアの活動に対しても助成を行った。

① ボランティア活動保険 ボランティア行事保険	社協負担	一般	個人 9人	団体 26(545人)
		災害	個人 3人	団体 2(14人)
		除雪	個人 11人	
② ボランティア行事用保険	個人負担		個人 9人	団体 23(587人)
	社協負担	一般		団体 2(450人)
③ 福祉サービス総合保険	個人負担			団体 8(470人)
	個人負担			団体 4(110人)
				合計 2,208人

(14)ボランティアセンターに関する広報活動

ボランティアセンター活動の周知啓発の一環として「社協だより」(年3回)の紙面を活用し全戸配布するとともに、身近な情報発信として、ボランティアセンター広報部会によるボランティアセンター情報誌「おもいあい」を年3回発行、市内の公共機関等の配布箇所を増やし情報の提供・啓発に努めた。

(15)ボランティア派遣

高齢者や障がい者、その家族の日常の負担軽減を図るため、車いす介助・視力障がい者介助・手話通訳・バザー・イベント等、必要な方にボランティアの派遣事業を行った。
□延べ114人

(16)ボランティア活動者の講習会・研修会参加促進

ボランティア活動の多様化が求められる中で、地域でのボランティア活動を幅広く実践していくために、住民の自主的な活動を支援し、様々な団体・推進機関と協議を行い、参加型の福祉の街づくりの促進を図るため、より良い視野を広める講習会・研修会に参加した。 □11月14日 空知地区ボランティア活動者推進セミナー 参加者62人

(17)ボランティア愛ランド北海道への参加

全道のボランティア実践者やボランティアに関心を寄せる人々が一堂に集い、ボランティア活動における課題等について研究協議を行うとともに、仲間づくりやネットワークの強化などを通じてボランティア活動の推進を図ることを目的に、「ボランティア愛ランド北海道2013in ゆうばり」(7月6日～7日)が夕張市において開催され、岩見沢市のボランティア活動者とともに参加し、研修交流を図った。また、当会より1名の職員が、分科会のコーディネーターとして参加するなど、運営の一端を担った。
□7月6日～7日 参加者33人

(18)ボランティア団体・福祉団体等への助成

ボランティア団体・福祉団体の育成、活性化促進を図るため、助成を行った。
なお、新たに「ボランティア団体活動費助成事業実施要綱」を制定し、実施要綱に合致するボランティア申請団体に対して1万円を上限に活動費助成を行った。

○ボランティア団体18団体

チャイルド・トイ・クラブ、岩見沢市赤十字奉仕団、岩見沢女性ドライバー部会、岩見沢スキーパトロール赤十字奉仕団、岩見沢更生保護女性会、岩見沢手話の会、岩見沢市点訳赤十字奉仕団、岩見沢さつきの会、在宅介護ボランティア輪っこの会、ガイドボランティアほたる、ボランティアサークルひとみの会、精神保健ボランティアサークル友(YOU)、手話サークルエプロン、東・栄デイサービスボランティアの会、青いバラの会と共に歩むボランティアの会、幌向ボランティアこのゆびとまれ、上幌向ボランティアえくぼ、家庭生活カウンセラークラブ

○福祉団体8団体、2事業

身体障がい者福祉協会、視力障害者福祉協会、肢体障害者福祉協会、ろうあ協会、心身障害児父母の会、手をつなぐ育成会、知的障がい者職親会、母子寡婦福祉会
ボランティアフェスティバル岩見沢、おもちゃライブラリー

9. 高齢者福祉の推進

(1)金婚を祝う会の実施

結婚生活 50 年を迎えた方々を招き、7 月 19 日ホテルサンプラザにて「第 40 回金婚を祝う会」を開催した。

□該当者 219 組(438 人) 当日出席者 137 組と 8 人の 282 人
(前年該当者 254 組 508 人、当日出席者 160 組と 9 名の 329 人)

(2)高齢者等社会参加促進事業の助成

①老人クラブ連合会が主催した作品展、囲碁・将棋大会、岩見沢シニア交流大会に対し助成を行った。

②視力障害者福祉協会が老人福祉週間に視力障害者福祉センターで 70 歳以上の高齢者を対象に実施したあんま・マッサージの無料奉仕事業に助成を行った。

10. 低所得者支援対策と日常生活自立支援事業

(1)生活福祉資金貸付相談の実施

道社協からの委託業務である、低所得世帯等の自立に必要な生活福祉資金の相談と貸付事務を実施するとともに、ハローワーク、市保護課等関係機関と連携し、経済的自立及び生活意欲の助長促進に努めた。なお、償還滞納世帯に対し、民生委員児童委員との連携により、文書による督促並びに訪問指導を行った。

○平成 25 年度貸付件数及び貸付金額

資金名	資金の種類	件数	総額
福祉資金	移転設備費	3 件	797,000 円
教育支援資金	就学支度費・修学費	4 件	3,502,000 円
総合支援資金	生活支援費	1 件	318,000 円
合計		8 件	4,617,000 円

(2)生活つなぎ資金の貸付

生活保護決定から保護費支給までの間の生活費として、一時的につなぎ資金として市保護課を通じて貸付を行った。 □54 件 545,000 円

(3)法定外一時援護

住所不定者等への送還旅費・宿泊費について、市保護課を通じ貸付を行った。 □12 件 10,500 円

(4)緊急生活費交付

生活福祉資金の制度に合致せず、尚且つ、やむを得ない事情により緊急に生活費が不足した場合に限り、緊急生活費の交付を行った。 □7 件 116,000 円

(5)道社協実施日常生活自立支援事業に係る生活支援員の増員と生活援助

認知症、知的障がい、精神障がい等により、判断能力が不十分で日常生活に支障のある方に対し、福祉サービスの利用援助や金銭管理等のサービスを実施する日常生活自立支援事業について、その担い手である生活支援員になりうる市民を募集し、北海道社会福祉協議会に推薦するとともに、必要に応じて当会にて利用者の通帳及び印鑑預かりを実施し、事業の円滑な実施につなげた。

また、現在、北海道社会福祉協議会が実施主体である日常生活自立支援事業の市町村社会福祉協議会への業務委託契約締結の実施に伴い、当会として平成 26 年 10 月 1 日の業務受託に向けて、各説明会等に参加するとともに、岩見沢市における新規相談ケースに対し、空知地区地域福祉生活支援センターの自立生活支援専門員に同行し、業務の理解に努めた。

□生活支援員 9 人 (道社協より委嘱)・活動件数 20 件
□通帳預かり 8 冊 印鑑預かり 3 本

1 1. 介護保険制度等に基づく各種事業経営の取組み

介護保険三事業(居宅・訪問・通所)の実施

居宅介護支援事業、訪問介護事業及び通所介護事業の三事業を実施し、介護給付対象者には利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、地域包括支援センターとの連携により予防給付対象者の自立支援に向けたサービスの提供に努めた。

(1)居宅介護支援事業の実施

介護支援専門員(ケアマネジャー)9人により要支援・要介護認定者の自立した在宅生活支援のサービス利用の基本となる、介護サービス計画(ケアプラン)の作成に努めた。

□要介護ケアプラン作成数 3,634人(月平均302.8人) 前年3,453人

□予防プラン作成数 755人(月平均62.9人) 前年912人

(2)訪問介護(ホームヘルプサービス)事業の実施

在宅で日常生活に支障のある高齢者等に対し、介護保険制度による居宅介護サービス計画に基づき訪問介護員(ホームヘルパー)を派遣し、生活援助・身体介護等のサービス提供による自立した生活支援促進に努めた。

□常勤ホームヘルパー 7人 □定時(パート)ヘルパー 24人

□介護利用者数1,820人14,211回(月平均151.7人1,184回) 前年1,867人15,338回

(3)通所介護(栗沢・美流渡デイサービスセンター)事業の実施

指定管理者制度に基づき受託した、栗沢デイサービスセンター及び美流渡デイサービスセンター運営の効率化と関係職員の資質向上に向けた指導と研修を随時実施し、利用者及びご家族の方々の安全・安心、利便性確保に努めた。

1 2. 障害者自立支援法及び児童福祉法による障がい者福祉サービス事業及び障がい者(児)福祉の推進

(1)障がい者居宅介護事業(ヘルパー派遣)の実施

在宅で日常生活に支障のある身体障がい者・知的障がい者及び精神障がい者に対して、訪問介護員(ホームヘルパー)を派遣し、生活援助・身体介護等を通じて在宅福祉サービスの提供による自立した生活支援に努めた。

□利用者数延べ458人 月平均利用者数38人

(2)子ども発達支援センターつみき園の運営

①通所支援事業(児童発達支援事業・放課後等デイサービス)の実施

発達の遅れや偏り、障害のある0~18歳の幼児・児童及び生徒を対象に、基本的動作等の訓練や保育を通じた発達援助の提供に努めた。

□登録児数 159人

□児童発達支援事業 利用者数延べ3,599人(一日平均15.4人)

□放課後等デイサービス 利用者数延べ448人(一日平均1.9人)

□合計利用者数延べ4,047人(一日平均17.3人)

②子ども発達支援センター事業(受託事業)の実施

岩見沢市より委託を受け、岩見沢地域(岩見沢市、三笠市、月形町、栗山町)における子どもの発達支援にかかるニーズを的確かつ迅速に把握するため、児童相談所・保健センター、学校、幼稚園、保育所等関係機関と連携し、情報共有を図り、発達に遅れや偏りのある児童及びその保護者に対し、個々の状況に適した相談・支援の提供に努めた。

□関係機関連携数 56機関(延214回)

□発達支援に関する相談件数

・つみき園通園幼児 104人(延222件)

・未通園幼児 100人(延179件)

・つみき園通園学齢 16人(延43件)

・未通園学齢 18人(延41件)

・合計 238人(延485件)

③相談支援事業の実施

障がい者(児)の自立した生活及び地域生活支援等、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、相談支援専門員(専従1名・兼務3名)がケアマネジメントによりサービス等利用計画の作成及びモニタリングを行った。

□障がい者	利用計画	100件(月平均 8.3件)
	モニタリング	111件(月平均 9.2件)
□障がい児	利用計画	143件(月平均 11.9件)
	モニタリング	168件(月平均 14.0件)

1.3. 産前産後ヘルパー事業(受託事業)の実施

岩見沢市の委託を受け、体調不良や家族等の援助を受けられない産前産後の子育て家庭への精神的負担を軽減し、安心して出産を迎え、子育てができるようにヘルパーを派遣し、家事・育児の支援を行った。

□産前産後ヘルパー利用者数 10人 延べ利用回数 65回

1.4. 広域総合福祉センターの管理運営

(1)地域福祉活動の拠点施設として、市民に利用され親しまれる福祉センターを目指し、管理運営にあたり、福祉・ボランティア団体等の各種活動に利用された。

○年度別用途別利用状況

(単位:件)

区 分	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料
会 議	66	192	54	245	57	250	69	215	53	167
集 会	14	43	9	9	5	12	7	20	8	14
講 習	100	112	80	95	74	110	35	108	90	109
研 修	27	21	66	57	82	60	67	54	44	57
例 会	334	414	316	406	285	361	284	416	247	430
そ の 他	35	405	42	305	29	312	41	280	63	424
小 計	576	1,187	567	1,117	532	1,105	503	1,093	505	1,201
施設・団体計	7	1,824	0	1,822	0	1,819	0	1,661	0	1,713
合 計	3,594		3,506		3,456		3,257		3,419	

○年度別利用人員および年間使用料収入状況

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
年間利用人員	48,500人/年	48,783人/年	47,320人/年	41,148人/年	43,091人/年
1日平均利用人数	144.3人	145.6人	141.3人	122.8人	128.6人
年間使用料収入	1,088,610円	1,116,290円	1,091,785円	947,590円	1,063,270円

(2)開館時間及び休館日

□開館時間 午前9時から午後9時まで □会館日数 335日

□休館日 毎月第2・第4日曜日及び12月29日から翌年1月3日まで

(3)岩見沢広域総合福祉センター改修工事及び修繕等

①電力会社の電力供給不足への対応及び電気料金値上げへの節電対策のため、館内の照

- 明器具の一部をLED化するとともに、照明を間引きするなど節電に努めた。
- ②建物内暖房設備水道設備の一部（1階部分）について改修工事を行い、暖房の効率化を図るとともに利用者の安全確保に努めた。
- ③2階研修室、講習室等の網戸を増設し、夏場における利用者の健康維持・増進に努めた。
- ④2階研修室スライディングウォール（研修室1・2・3の仕切り壁）の改修を行い、利用者の利便性と安全確保に努めた。

15. 指定管理者制度による市の施設の管理

- (1)受託施設(高齢者福祉センターふれあい、栗沢福祉団体活動センター、栗沢・美流渡デイサービスセンター)の円滑な運営と安全な管理の徹底に努めた。
- ①高齢者福祉センターふれあい(受託期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日)
□開館日数 294日、延べ利用者 39,742人、1日平均利用者 135.2人
- ②栗沢福祉団体活動センター（受託期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）
□開館日数 251日、延べ利用者 2,705人、1日平均利用者 10.7人
- ③栗沢デイサービスセンター（受託期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）
□営業日数(月～金) 257日、延べ利用者 4,844人、1日平均利用者 18.9人
□営業日数(土) 52日、延べ利用者 799人、1日平均利用者 15.4人
- ④美流渡デイサービスセンター(受託期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日)
□営業日数 125日、延べ利用者 639人、1日平均利用者 5.1人

16. 愛情銀行の適正運営

市民の温かい善意と思いやりの金品の寄附及び預託を受け、真に必要なとする方々への交付提供に努めた。 別紙資料

17. 車椅子の貸出

傷病等の理由により、一時的に車椅子が必要になった方や、彩花まつり、ふるさと百餅祭り等に車椅子を貸出し、日常生活の向上や社会参加の促進、在宅介護への負担軽減に努めた。

また、小中高等学校の福祉体験学習にも貸出しを行い、効果的な福祉教育に活用した。

○車椅子貸出状況

年 度	貸出件数	貸出台数
平成21年度	65	109
平成22年度	97	176
平成23年度	112	254
平成24年度	99	219
平成25年度	76	183

18. 協賛・後援

事業の協賛・後援により、社会福祉協議会の趣旨普及に努めた。

◎協賛

- (1)第25回ひきよせ大会 9月15日
- (2)第28回いわみざわ健康まつり 9月29日

◎後援

- (1)第66回花まつり 5月18日
- (2)コロムビア演歌まつり in 岩見沢 7月26日
- (3)第30回ボランティアフェスティバル岩見沢 8月24日～25日・31日
- (4)劇団カッパ座公演 9月7日
- (5)いきいき健康フェア 9月7日
- (6)第13回ふれあい健康まつり 9月7日
- (7)平成25年度ナイスハート・ふれあいの広場岩見沢大会 9月10日
- (8)第14回空知地域精神障がい者家族大会 in いわみざわ 9月21日
- (9)「明日の希望ー悲しみよありがとう高江常男物語ー」上映会 9月29日
- (10)健康と福祉を高めるセミナー 10月18日
- (11)低炭素プロジェクト「岩見沢ガイアナイト2013」 10月19日
- (12)第3回ウィルチェアーラグビーHUEIカップ 11月10日
- (13)映画上映会「世界一すてきな僕たち私たちへ」 12月6日
- (14)プロジェクトXmas2013 12月15日～26日
- (15)平成26年度北海道里親研修大会・全国里親会北海道地区里親研修大会

平成26年9月7日

19. 公の施設の指定管理者制度による管理受託施設利用状況報告

(1) 高齢者福祉センターふれあい利用状況

- ①指定管理受託日：平成21年4月1日
- ②開館日：月曜日から土曜日まで 294日
- ③利用時間帯：午前9時から午後5時まで（入浴時間は正午から午後3時）
- ④職員配置：センター長1人(社協正規職員 主幹職)
 嘱託職員1人(女性1人)
 臨時職員3人(男性2人、女性1人)
 パート職員2人(女性2人)
 ※日常3人体制。入浴時間帯は4人体制。

⑤25年度利用者数

区分	一般の利用人数		部会等の利用人数		総数	
利用人数	20,324人		19,418人		39,742人	
男女別利用人数	男性	11,432人	男性	9,942人	男性	21,374人
	女性	8,892人	女性	9,476人	女性	18,368人
1日平均	69.1人		66.0人		135.1人	

⑥趣味と教養部会 利用状況

部会名	利用回数	利用人数	部会名	利用回数	利用人数
カラオケ部会	35回	2,783人	太鼓部会	33回	203人
民謡・伴奏部会	34回	440人	民謡踊部会	48回	1,001人
俳句部会	10回	79人	民謡鼓舞詩会	18回	153人
卓球部会	48回	2,145人	華道部会	15回	156人
書道部会	46回	590人	煎茶部会	38回	154人
詩吟部会	31回	154人	陶芸部会	182回	3,394人
手芸部会	39回	394人	囲碁同好会	232回	4,572人
木彫部会	41回	203人	新将棋愛好会	243回	1,889人
ダンス部会	43回	821人	合計	1,162回	19,285人
茶道部会	24回	148人	オモチャの病院	46回	133人
謡吟会	2回	6人	計	1,208回	19,418人

⑦主な行事

- 趣味と教養部会の発表会を開催 4月25日、26日 497人
 展示発表は6部会で324点の展示
 ・舞台発表は7部会で25演題の発表
 ・土曜日初心者陶芸教室 5月18日・9月7日 2回25人
- ふれあいカラオケの集い 6月29日～3月29日 5回 108人
- ふれあいミニコンサート 7月27日～2月22日 3回 59人
- 移動心配ごと相談所開設 7月18日、11月14日、2月20日（計3回）
- センター内大掃除 2月13日 130人
- センターおたのしみ会 12月14日 59人
- 高齢者福祉センター「ふれあいまつり」8月3日 700人
- 市老連女性部共催健康体操 2月7日 6人

(2) 栗沢・美流渡デイサービスセンター、栗沢福祉団体活動センター利用状況

名 称	栗沢デイサービスセンター	美流渡デイサービスセンター	栗沢福祉団体活動センター
管理受託日	平成 21 年 4 月 1 日	平成 21 年 4 月 1 日	平成 21 年 4 月 1 日
区 分	指定通所介護・指定介護予防通所 【通常規模型】・一般型	指定通所介護・指定介護予防通所 【小規模型】・一般型	
定 員	月～金曜日 30 人(1 単位目) 土曜日 20 人(2 単位目)	1 日 8 人	
利用人数	(月～金)(土) 営業 309 日(257)(52) 実人数 699 人 延べ 5,643 人(4,844)(799) 1 日平均 (18.9 人)(15.4 人)	営業 125 日 実人数 98 人 延べ 639 人 1 日平均 5.1 人	開館 251 日 利用者 2,705 人 1 日平均 10.8 人
職員配置	職員登録人数 管理者(兼務) 1 人 生活相談員 3 人 介護員 2 人 臨時介護員 10 人 パート看護師 3 人 運転手 1 人 職員配置 指定基準 (30 人定員) (20 人定員)	基準 3 人⇒3 人(提供時間帯) 管理者(兼務) 1 人 生活相談員 1 人 臨時介護員 3 人 パート看護師 2 人 提供時間帯 9 人 (月～金曜日) 6 人 (土曜日)	社協職員 1 人 (支所業務と兼務)
営業日	月曜日から土曜日 (祝日を含む) (日曜日及び 12 月 31 日から 1 月 3 日まで休み)	月曜日から金曜日 (祝日を除く) (土・日曜及び 12 月 31 日から 1 月 5 日まで休み)	
時 間	午前 8 時 30 分から午後 5 時 45 分 栗沢【提供時間帯 9 時 00 分～16 時 30 分の 7.5 時間】 美流渡【提供時間帯 9 時 45 分～15 時 15 分の 5.5 時間】		午前 8 時 30 分から 午後 5 時 15 分
介護内容	日常生活上の援助 (排泄の介助、移動の介助、その他必要な身体介護) 入浴の介護、機能訓練、送迎、食事の介助、相談・助言、 介護の指導 運動機能向上訓練		利用団体 ・ 更生保護女性会 ・ 老人クラブ連合会 ・ ボランティア活動団体 ・ いちいの会 ・ すみれの会 ・ 補修ボランティア
利用料	介護報酬の告示額による ・ 法定代理受領分(国保連合会) ・ 法定代理受領分以外(個人負担)		
その他の費用	食費(1 回につき 590 円)、行事食(1 回につき 640 円) お茶・おやつ代 (1 回につき 100 円) オムツ代(実費)、その他通常必要なもの		
区 域	岩見沢市 全 域	岩見沢市の一部地域 (朝日町、奈良町、毛陽町、 美流渡、万字)	

平成25年度 子ども発達支援センターつみき園市町別利用状況

(単位：人)

登録	月	指導 日数	利用実人員		岩見沢市			三笠市		月形町		栗山町		奈井江町		由仁町		利 用 延人員	1日平均 利用人員
			市内	市外	幼児	就学	小計	幼児	就学	幼児	就学	幼児	就学	幼児	就学	幼児	就学		
113	4月	16	64	10	198	11	209	5	2	16	0	6	1	0	0	0	0	239	12.6
119	5月	20	67	10	193	13	206	4	2	22	0	6	1	0	0	0	0	241	13.4
124	6月	20	66	10	214	14	228	5	2	24	0	3	1	0	0	0	0	263	13.2
126	7月	22	68	10	216	12	228	3	2	22	0	5	1	0	0	0	0	261	13.1
128	8月	20	77	11	225	21	246	2	4	24	0	6	1	0	0	0	0	283	13.5
131	9月	19	73	12	221	16	237	4	4	24	0	8	1	0	0	0	0	278	14.6
138	10月	22	72	10	219	17	236	4	4	18	0	7	0	0	0	0	0	269	12.8
142	11月	19	73	10	209	17	226	5	4	16	0	7	0	0	0	0	0	258	13.6
146	12月	19	79	11	195	15	210	1	4	13	0	7	1	0	0	0	0	235	13.1
153	1月	19	78	13	204	13	217	2	4	11	0	9	0	0	0	0	0	244	13.6
154	2月	19	79	12	230	15	245	1	4	14	0	6	0	0	0	0	0	270	14.2
159	3月	19	87	14	225	14	239	0	5	11	0	5	3	0	0	0	0	263	17.5
1,633	計	234	883	133	2,549	178	2,727	36	41	215	0	75	10	0	0	0	0	3,104	13.7

月平均

24年	18.9	73.6	11.1	212.4	14.8	227.3	3.0	3.4	17.9	0.0	6.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	258.7	13.7
23年	18.7	71.6	7.8	215.1	18.3	233.4	8.1	1.3	5.0	0.0	5.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	253.5	13.6
22年	19.0	70.3	7.8	216.4	19.8	236.3	12.3	0.3	9.1	0.0	1.5	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	260.7	13.7